

交野市埋蔵文化財調査報告 2000—Ⅲ

平成12年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2001. 3

交野市教育委員会

平成12年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2 0 0 1 . 3

交野市教育委員会

例　　言

- 1 本書は交野市教育委員会が、平成12年度国庫補助事業として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。
- 2 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。
- 3 本書で使用したレベル高は海拔絶対高で、方位は磁北方位である。

目 次

例 言

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況	1
第2章 発掘調査報告	9
第1節 森遺跡	9
① 2000-5次調査	9
② 2000-6次調査	11
③ 2000-8次調査	12
④ 2000-10次調査	13
第2節 天田神社遺跡	14
第3節 東倉治遺跡	15
第4節 倉治遺跡	16

挿 図

第1図 遺跡分布図	5
第2図 調査地位置図(1)	6
第3図 調査地位置図(2)	7
第4図 調査地位置図	9
第5図 掘削地位置図	10
第6図 第1トレンチ北側断面実測図	10
第7図 出土遺物実測図	10
第8図 調査地位置図	11
第9図 掘削地位置図	11
第10図 調査地位置図	12
第11図 掘削地位置図	12
第12図 トレンチ断面実測図	12
第13図 調査地位置図	13
第14図 掘削地位置図	13
第15図 断面実測図	13

第16図 調査地位置図	14
第17図 掘削地位置図	14
第18図 断面実測図	14
第19図 調査地位置図	15
第20図 掘削地位置図	15
第21図 調査地位置図	16
第22図 掘削地位置図	16
第23図 断面実測図	16

挿 表

第1表 平成12年度発掘調査一覧（1）	1
第2表 平成12年度発掘調査一覧（2）	2
第3表 平成12年度発掘調査一覧（3）	3

図 版

- 図版1 森遺跡2000-5次調査第1トレンチ
- 図版2 森遺跡2000-5次調査遺構検出状況
- 図版3 森遺跡2000-5次調査出土遺物
- 図版4 森遺跡2000-6次調査第3トレンチ
- 図版5 森遺跡2000-6次調査第1トレンチ
- 図版6 森遺跡2000-8次調査第2トレンチ
- 図版7 森遺跡2000-8次調査第2トレンチ
- 図版8 森遺跡2000-8次調査出土遺物
- 図版9 森遺跡2000-10次調査
- 図版10 森遺跡2000-10次調査出土遺物
- 図版11 天田神社遺跡2000-1次調査第1トレンチ
- 図版12 東倉治遺跡2000-1次調査
- 図版13 倉治遺跡2000-1次調査第1トレンチ
- 図版14 倉治遺跡2000-1次調査第1トレンチ

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では平成12年4月1日から平成13年2月28日に至る間、交野郡衙跡22件の補助事業に係る発掘調査を実施した。埋蔵文化財の届出件数は、平成13年2月28日現在では104件にものぼり、昨年における届出総件数が84件であることから、増加している。ここ数年来の傾向では右上がりに伸びていることがうかがえたが、昨年度に落ち込みを見せて以来、伸びはゆるやかになっている。

工事の種別では、個人住宅建設が56件と全体の5割、分譲住宅が24件で3割、宅地造成、店舗がそれぞれ6件で1割弱、その他となっている。

遺跡別に見てみると届出件数の最も多かったのは、森遺跡の29件、ついで交野郡衙跡の19件、ハセデ遺跡の9件、私部城跡の7件で、特に森遺跡の場合は区画整理事業後の土地利用として、共同住宅（マンション）や店舗等の建設に伴う届出を提出されるケースが多い。また交野郡衙跡の場合、分譲住宅建設に伴う届出が大半を占めていた。近年交野郡衙跡を含む郡津地区及び森遺跡を含む森・私市地区における宅地開発が多く見られるところで、また今後もこのようない傾向が引き続き見られるものと思われる。

今年度補助事業に係る試掘調査の対象となった遺跡は、東倉治遺跡、倉治遺跡、森遺跡、天田神社遺跡、交野郡衙跡、外殿垣内（とうのがいと）遺跡、ハセデ遺跡の7遺跡である。調査区が広範なために複数のトレーナーを設定したのは8調査区、また遺構確認のため調査範囲を広げた遺跡は森遺跡において1調査区のみであった。詳細については別に一覧表を記載する。

なお試掘調査の対象とならなかった届出の内訳は、立会調査は10件、慎重工事は67件となっている。

平成11年度届出分

月 日	遺跡名	調査地	調査内容
1 H12.5.15	東倉治遺跡 2000-1	東倉治3丁目 2093-3	調査区西側に0.8×1.2mのトレーナーを設定し、1.0mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。本書15ページに記載。

第1表 平成12年度発掘調査一覧（1）

平成12年度届出分

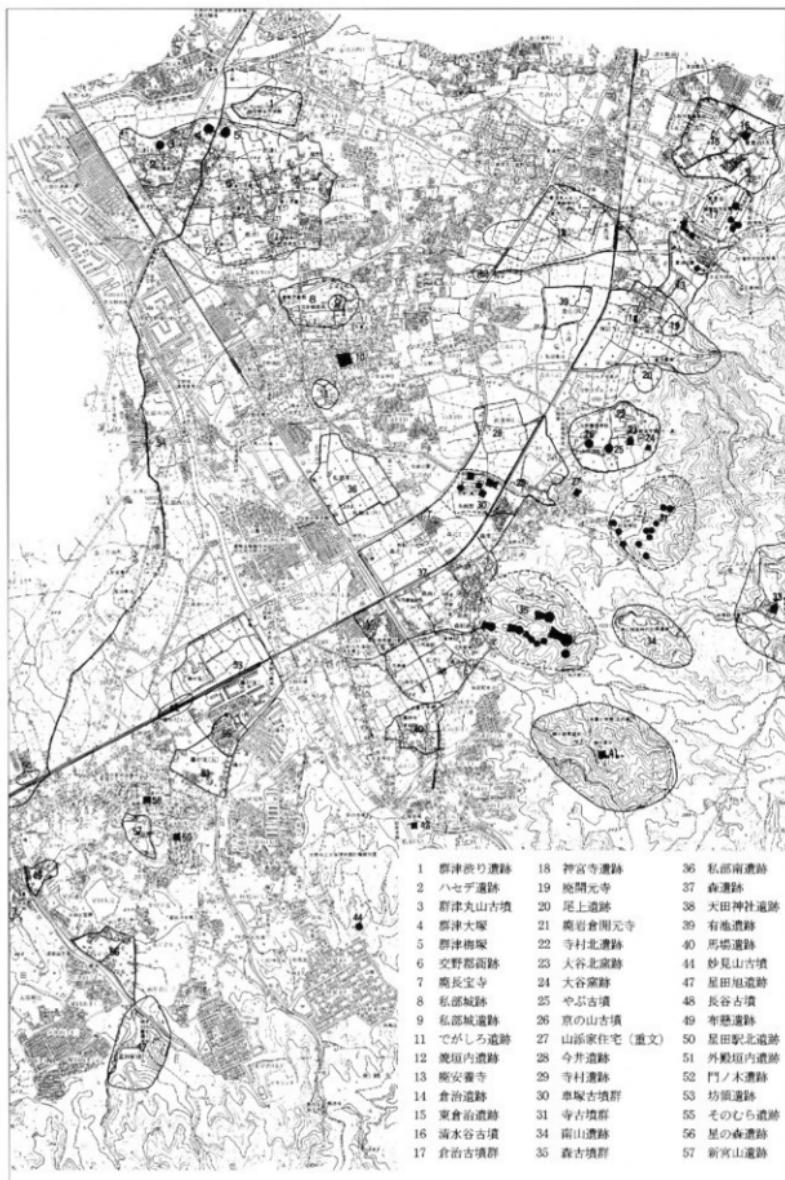
	月 日	遺跡名	調査地	調査内容
2	H12.4.25	森遺跡 2000-2	森北1丁目 71~77	調査区に0.8×3.5mのトレンチを設定し1.3mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
3	H12.5.15	森遺跡 2000-3	私市2丁目 1135-1	調査区中央に3.0×0.8mのトレンチを設定し1.1mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
4	H12.5.24	天田神社遺跡 2000-1	私市3丁目 3番地	調査区東に0.7×2.6m及び北西に0.7×2.5mのトレンチを設定し0.5mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。本書14ページ記載。
5	H12.5.30	倉治遺跡 2000-1	倉治1丁目 525-3	調査区北東に0.6×2.2m、北西に0.7×1.8mのトレンチを設定し、それぞれ0.6mまで重機にて掘り下げる。遺構なし。土師器片、瓦器片を検出。本書16ページに記載。
6	H12.6.30	交野郡衙跡 2000-1	幾野3丁目 1808-2、1809-2	調査区東北に0.8×2.1mのトレンチを設定し0.7mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
7	H12.7.17	森遺跡 2000-4	森北1丁目8-2	調査区西側に0.7×2.2mのトレンチを設定し1.7mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
8	H12.7.18	交野郡衙跡 2000-2	郡津3丁目 1436-11他	調査区北西に1.0×2.0mのトレンチを設定し1.0mまで人力にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
9	H12.7.26 ~27	森遺跡 2000-5	森北1丁目 33、34	調査区内に3カ所のトレンチを設定し重機にて掘り下げる。本書9ページに記載。
10	H12.8.3 ~4	森遺跡 2000-6	森北1丁目49他	調査区全体に9カ所のトレンチを設定し約2~2.5mの深さまで重機にて掘り下げる。本書11ページに記載。
11	H12.8.21	森遺跡 2000-7	森北1丁目134	調査区南東及び北東に0.8×2.0mのトレンチを設定し、0.7mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。

第2表 平成12年度発掘調査一覧（2）

平成12年度届出分

月 日	遺跡名	調査地	調査内容
12 H12.8.28	交野郡衙跡 2000-3	郡津3丁目 1075他	調査区東側に3.5×0.8m、中央に4.1×0.8m、西側に4.0×0.8mのトレンチを設定し1.0mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
13 H12.8.29	交野郡衙跡 2000-4	郡津3丁目 1408-1・2	調査区中央に1.0×1.0mのトレンチを設定し、0.6mまで人力にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
14 H12.9.21	森遺跡 2000-8	森北1丁目64	調査区南に1.3×5.0m、1.0×3.5mの大きさのトレンチを設定し1.5mまで重機にて掘り下げる。中世遺構を検出。本書12ページに記載。
15 H12.10.26	交野郡衙跡 2000-5	郡津3丁目 1081-2	調査区中央1.0×1.0mのトレンチを設定し、0.4mまで人力にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
16 H12.10.26	外殿垣内遺跡 2000-1	藤が尾5丁目 139-4	調査区北東に1.0×2.3mのトレンチを設定し重機にて2.0mまで掘り下げる。遺構・遺物なし。
17 H12.11.9	森遺跡 2000-9	森北1丁目133	調査区北東に1.1×2.7mのトレンチを設定し、2.8mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
18 H12.12.20	森遺跡 2000-10	森南3丁目 113番の一部	調査区中央に1.1×5.5mのトレンチを設定し、0.7mまで重機にて掘り下げる。遺構なし。土師器片を検出。本書13ページに記載。
19 H12.12.25	交野郡衙跡 2000-6	郡津4丁目361	調査区東側に1.1×3.6m、北側に1.1×3.0mのトレンチを設定し、重機にて0.8mまで掘り下げる。遺構・遺物なし。
20 H13.2.20	ハセデ遺跡 2000-1	郡津5丁目 1028-5	調査区南西側に1.1×2.2mのトレンチを設定し、0.5mまで重機にて掘り下げる。遺構・遺物なし。
21 H13.2.22	森遺跡 2000-11	森南2丁目426	調査区中央に1.0×1.0mのトレンチを設定し0.8mまで掘り下げる。遺構・遺物なし。

第3表 平成12年度発掘調査一覧（3）

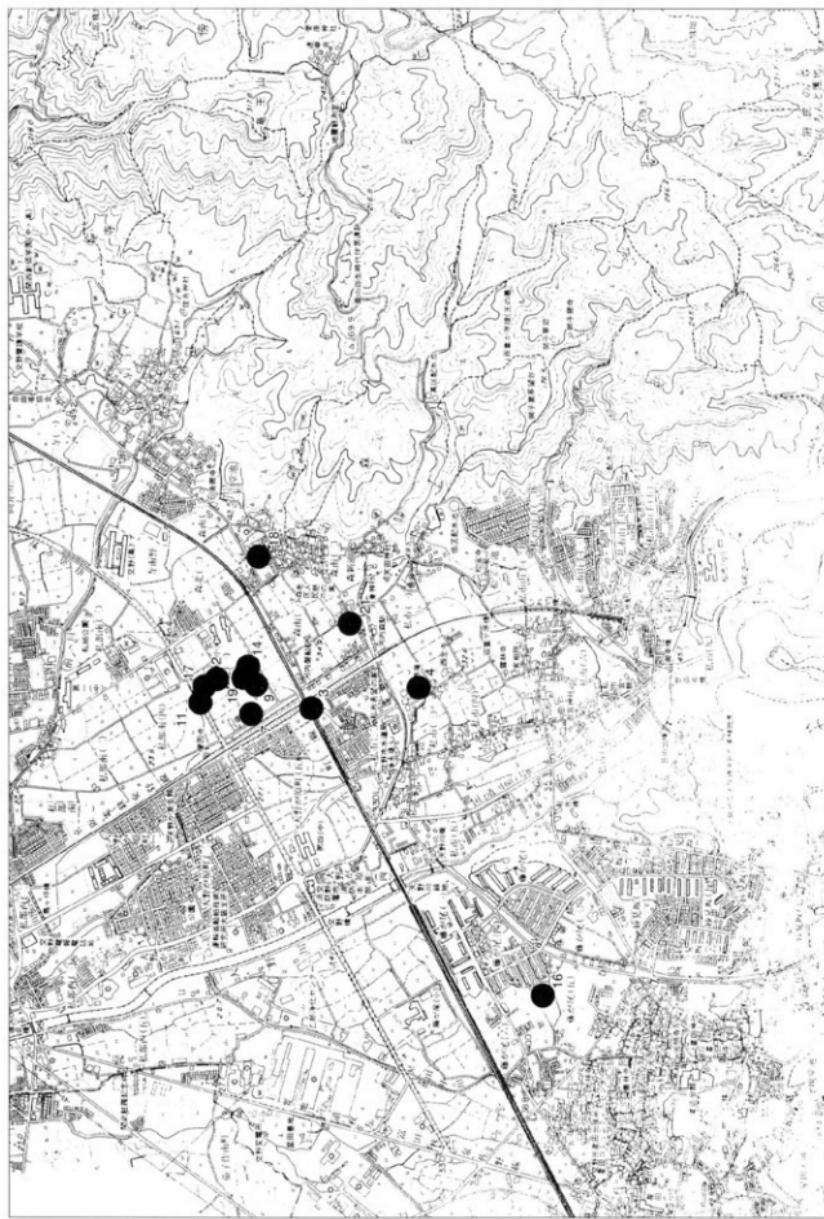


第1図 遺跡分布図

第2図 調査地位置図 (1) 1:15,000



第3図 調査地位置図 (2) 1:15,000

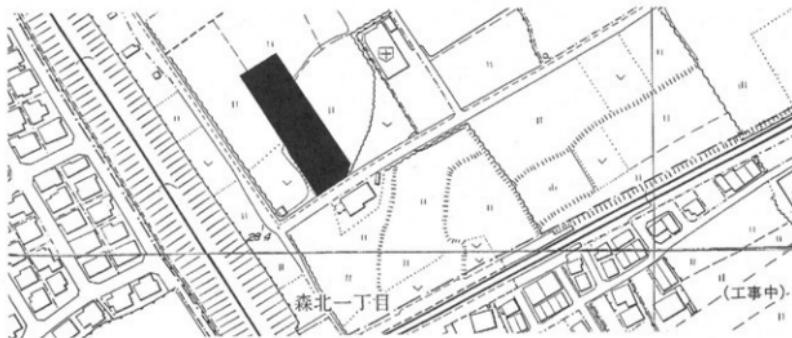


第2章発掘調査報告

第1節 森遺跡

①森遺跡 2000-5次調査 交野市森北1丁目33,34

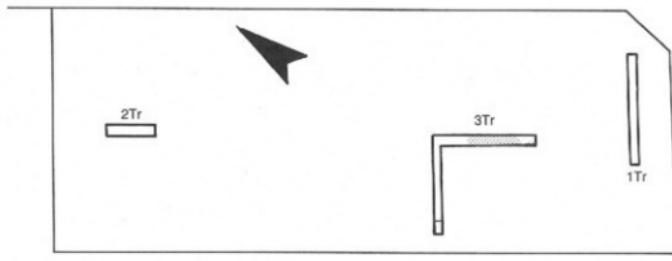
老人ホーム建設に伴う発掘調査である。調査区は古墳時代から中世にかけての遺構を検出してきた森95-2次1・2調査区の北側に位置する区画道路3号を挟んだ反対側の部分である。森遺跡はこの区画道路3号を境に北西に向かうにつれて土地の高度が下がり、遺構の検出も見られなくなる。調査は、調査区南側に第1トレンチ東西9.0m×南北0.8mを設定し、重機で2.4mの深さまで掘り下げた。地表下約1.3mまでは区画整理事業の際の盛土であり、その下に水田層である暗灰色シルトが約0.3m堆積し、更にその下にオリーブ灰色の砂質（粘質土）が最大幅0.5mにわたり堆積し、その下層には黄灰色砂層が0.3m堆積していた。この層は森遺跡でよく見られる中世遺構面を検出した層である。第2トレンチは調査区北側に設定したトレンチで、東西1.0m×南北4.0mの大きさを測る。盛土約0.7m堆積の下は旧水田層が約0.2m堆積する。その下は暗オリーブ色粘質土が堆積していた。第3トレンチは中央部のトレンチで、当初東西1.0m×南北8.4mで掘削を行っていたが、中世の遺物が発見されたために西側に直角に東西8.0m×南北0.8mのトレンチを延長した。表上下1.2mまでは盛土で、その下0.2mは旧水田層、その下0.1mはオリーブ灰色の粘土が続く。トレンチ南端部では、黄灰色砂層（第4層）上面で遺構を検出した。この遺構は、水田状遺構と思われるが、中世の遺物を検出した浅黄色シルト層は、厚さが0.1m程度であり、ごく一部でしか検出出来なかったため詳細については不明である。



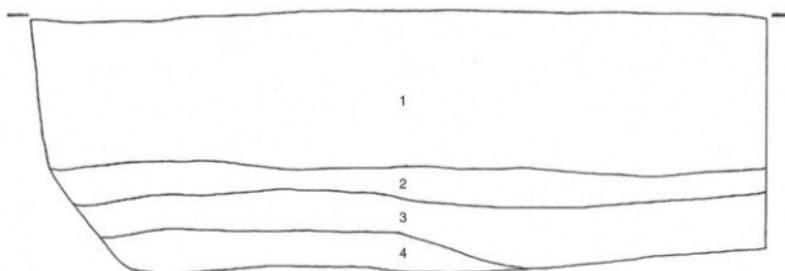
第4図 調査地位置図 1:2,500

出土遺物には、須恵器片・土師器片・瓦質土器片等がある。(第7図)

工事に際しては、地下構造物は、地下2.0mまで部分的に基礎杭を打ち、その下は地中針を埋設するため、工事時に立ち会い調査を行うこととした。この結果、立ち会い調査時には遺構・遺物の検出は見られなかった。

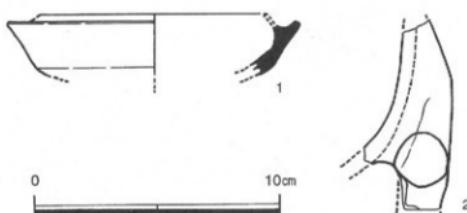


第5図 挖削地位置図 1:400



1. 盛土 2. N3/暗灰色シルト(旧地表-水田層) 3. 5G Y6/1オリーブ粘質土 4. 2.5Y 6/1黄灰色砂

第6図 第1トレンチ北側断面実測図 1:40



第7図 出土遺物実測図 1:2

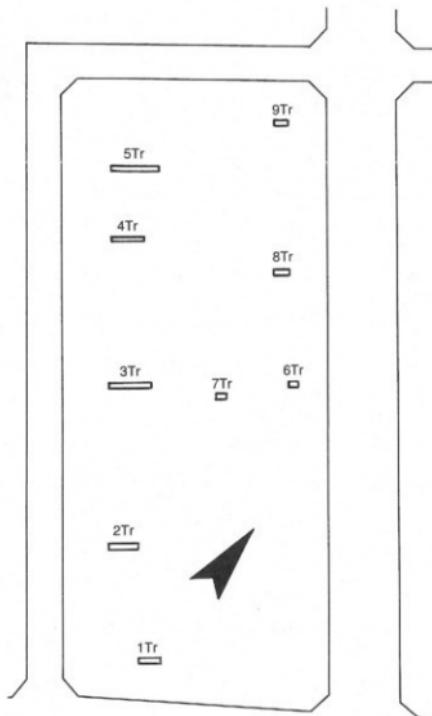
②森遺跡 2000 - 6次調査 交野市森北1丁目49他

大型店舗建設に伴う発掘調査である。調査区は、東西47m、南北122m、敷地総面積6213.5m²にも及ぶため、調査区内に9カ所のトレンチを設定し、重機による掘削を行った。

調査地全体は大きく9のブロックに分かれ、各ブロックは北へ進むほど階段状に約0.4mほど低くなる。また調査区東半分と西半分で大きく段差があり、東側が約1mほど高くなっていた。そのため各ブロックに1つのトレンチを設けた。各トレンチは2.0～2.5mの深さまで掘削を行ったが、森遺跡2000-5次調査のような遺構・遺物は検出できなかった。



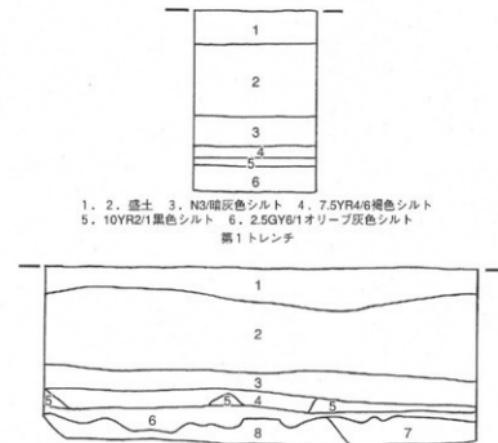
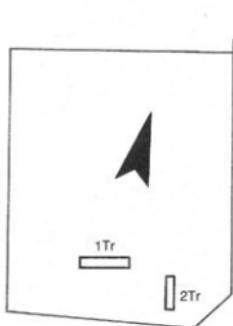
第8図 調査地位置図 1:2,500



第9図 掘削地位置図 1:1,000

③森遺跡 2000－8次調査 交野市森北1丁目64

店舗建設に伴う発掘調査である。調査区内に2カ所のトレンチを設定した。第1トレンチは、調査区中央部分に設定したトレンチで東西5.0m×南北1.3m、第2トレンチは東側に設定したトレンチで東西1.0m×南北3.5mを測る。第1トレンチ内は表上下0.8mまでが盛土、その下約0.2mが旧水田層である暗灰色シルト層、その下0.1mが褐色シルト層、その下に黒色シルト層、以下オリーブ灰色シルト層が続いていた。



第12図 トレンチ断面実測図 1:40

④森遺跡 2000-10次調査 交野市森南3丁目113番1の一部

個人住宅の建て替えに伴う発掘調査である。調査区中央付近に東西5.5m×南北1.1mのトレチを設定し、重機にて0.7mの深さまで掘削を行った。その結果、表土下約0.3mまでは解体時の埋戻し土、以下約0.2mまではにぶい黄砂質土層、その下約0.1mまでは黄灰色砂質土層(遺物包含層)、更にその下は灰黄褐色砂質土(礫混じり)が続いていた。

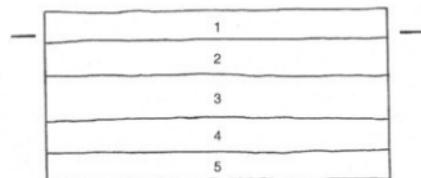
遺物は第3層めの遺物包含層内より石器1点、土師器片3点が検出されたが、遺構は検出できなかった。



第13図 調査地位置図 1:2,500



第14図 掘削地位置図 1:400



第15図 断面実測図 1:20
 1. 表土 2. 混乱層 3. 2.5Y6/4にぶい黄色砂質土
 4. 2.5Y4/1黄灰色砂質土 5. 10YR4/2灰黄褐色砂質土(礫混)

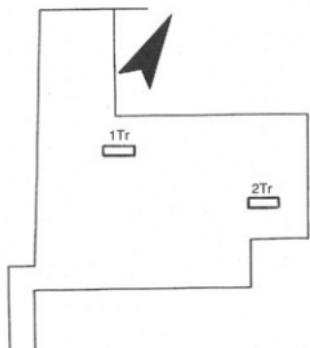
第2節 天田神社遺跡

天田神社遺跡 2000-1次調査 交野市私市3丁目3番他

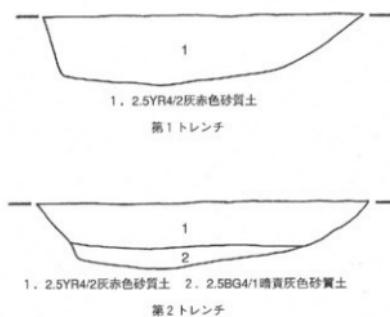
個人住宅建て替えに伴う試掘調査で、調査区内東側部分および北西部分の2カ所にトレーニチを設定し、重機による掘削を行った。第1トレーニチは北西側部分に設定したトレーニチで、東西2.5m×南北0.7m、深さ0.5mを測る。表土下約0.3mまでは、埋め戻し土である灰赤色砂質土層が堆積し、その下に暗緑灰色シルト層が堆積していた。この層は旧水田層と思われる。第2トレーニチは東側部分に設定したトレーニチで、東西2.6m×南北0.7m、深さ0.5mを測る。



第16図 調査地位置図 1:2,500



第17図 掘削地位置図 1:400



第18図 断面実測図 1:40

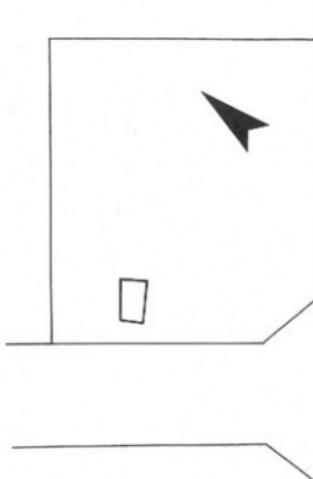
第3節 東倉治遺跡

東倉治遺跡 2000－1次調査 交野市東倉治3丁目 2093－3

個人住宅建設に伴う試掘調査で、調査区西側部分に東西0.8×南北1.7mのトレンチを設定し、重機にて1.0mの深さまで掘削を行った。地表下0.3mまでは盛土。その下はにぶい黄色砂層である。東倉治遺跡一帯は、交野山系の山裾部に位置し、山崩れによる土砂の堆積が著しい地域である。今回の調査地においても山砂の堆積がみられた。



第19図 調査位置図 1:2,500



第20図 掘削位置図 1:200

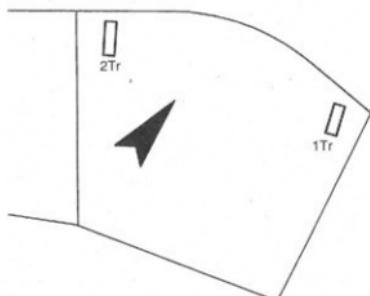
第4節 倉治遺跡

倉治遺跡 2000-1次調査 交野市倉治1丁目525-3

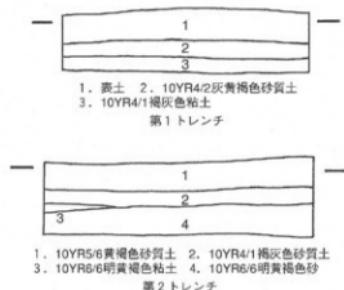
個人住宅新築に伴う発掘調査で、調査区の東西2カ所にトレンチを設定した。第1トレンチは北東側に設定したトレンチで、東西0.7m×南北1.8m、0.6mの深さまで、第2トレンチは北西側に設定したトレンチで東西0.6m×南北2.2m、約0.6mの深さまで重機によって掘削した。黄褐色シルトの表土が約0.2mほど堆積した下層には、褐灰色砂質土が約0.1m堆積していた。この中から中世の土師器片2点、瓦器片1点を検出した。(細片のため図化はできなかった。) その下層は明黄褐色砂層(地山層)となる。当調査地の東には天井川である免除川が流れ、川の東側地域と遮断されている感があるが、この川は江戸時代以前に新しく付け替えられた川であり、以前は当調査地一帯も川の東側にあたる有池遺跡に含まれていたと思われる。近年の調査によつて、川の東側付近で新たに中世の集落跡が発見されている。



第21図 調査地位置図 1:2,500



第22図 掘削地位置図 1:300

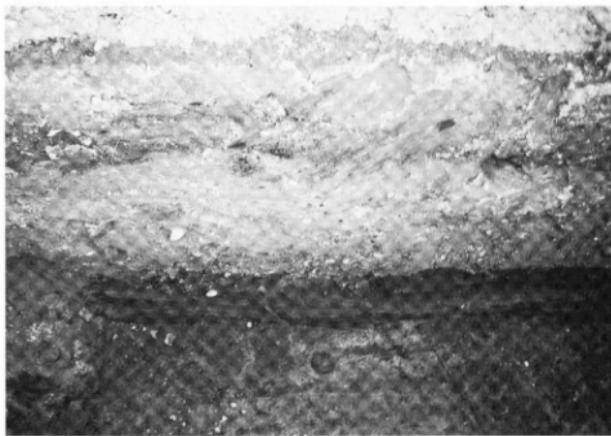


第23図 断面実測図 1:40

図 版



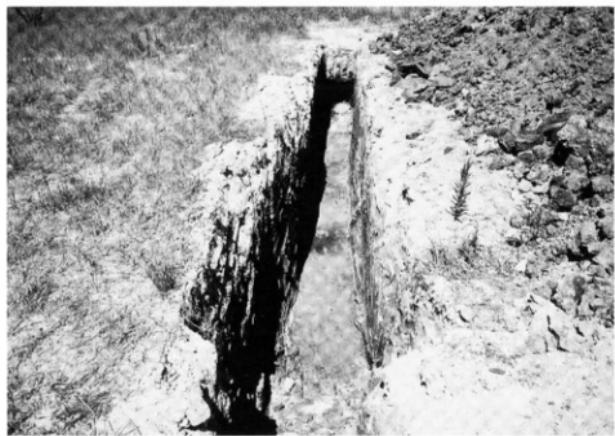
図版1 森遺跡2000-5次調査第1トレンチ



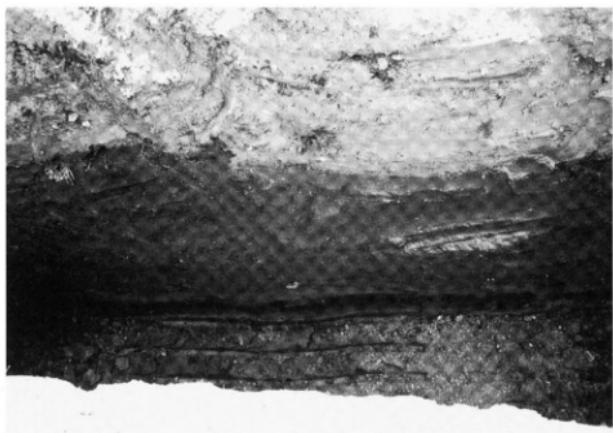
図版2 森遺跡2000-5次調査遺構検出状況



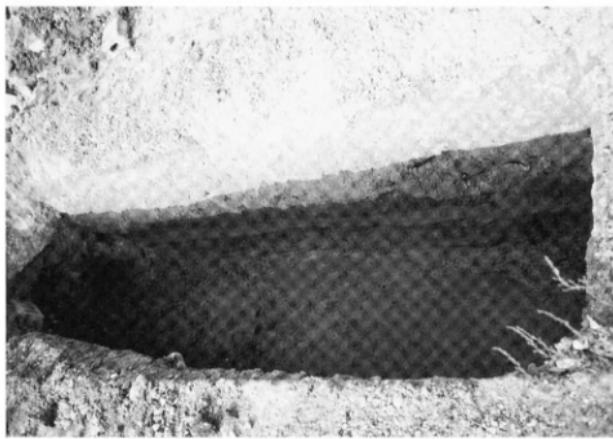
図版3 森遺跡2000-5次調査出土遺物



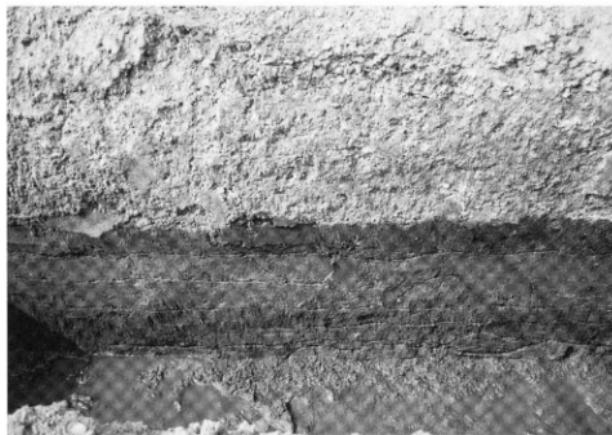
図版4 森遺跡2000-6次調査第3トレンチ



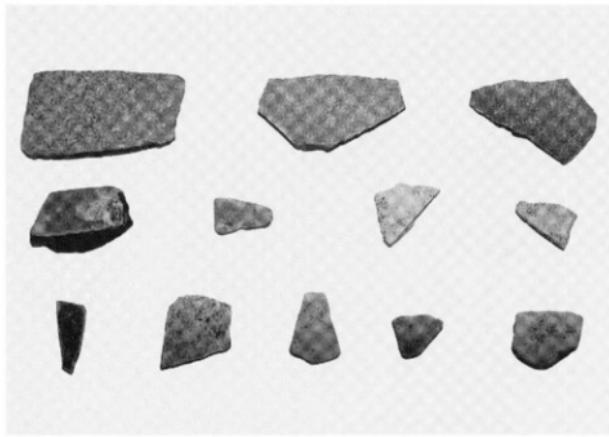
図版5 森遺跡2000-6次調査第1トレンチ



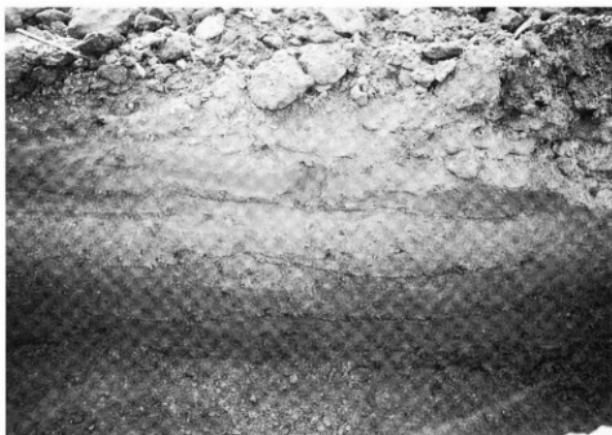
図版6 森遺跡2000-8次調査第2トレンチ



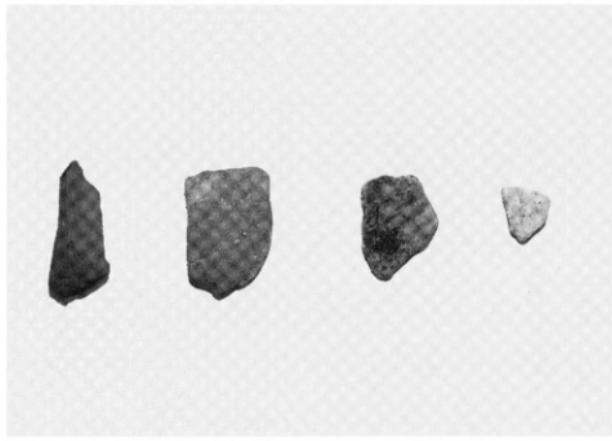
図版7 森遺跡2000-8次調査第2トレンチ



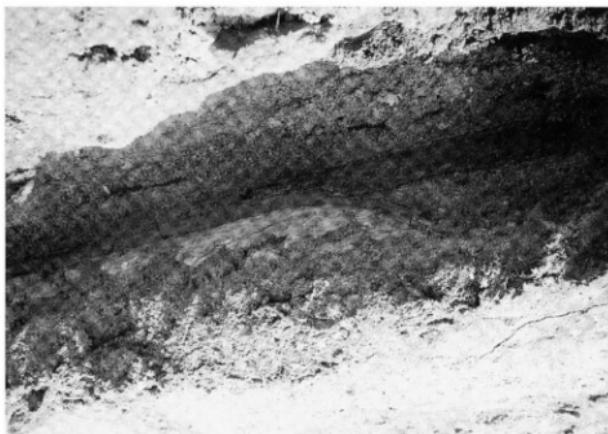
図版8 森遺跡2000-8次調査出土遺物



図版9 森遺跡2000—10次調査



図版10 森遺跡2000—10次調査出土遺物



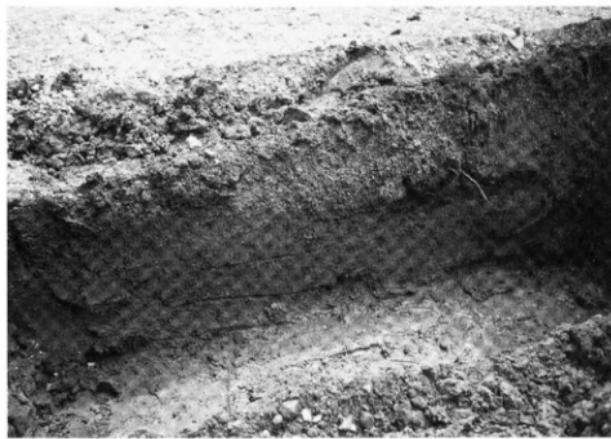
図版11 天田神社遺跡2000-1次調査第1トレンチ



図版12 東倉治遺跡2000-1次調査



図版13 倉治遺跡2000-1次調査第1トレンチ



図版14 倉治遺跡2000-1次調査第1トレンチ

報告書抄録(1)

ふりがな	へいせい12ねんどかのしまいぞうぶんかざいはくつちょうさがいよう						
書名	平成12年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要						
副書名							
卷次							
シリーズ名							
シリーズ番号	交野市文化財調査報告2000-Ⅲ						
編著者名	奥野和夫 小川暢子						
編集機関	交野市教育委員会						
所在地	〒576-0052大阪府交野市私部1丁目1番1号 駐(072) 892-0121						
発行年月日	西暦2001年3月30日						

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
もりいせき 森遺跡①	かたのしもりきた 交野市森北	27230		34° 46' 30"	135° 41' 25"	2000.7.26~ 7.27	25.05	老人ホーム 建設
						2000.8.3~ 8.4	50.0	店舗建設
						2000.9.21	10.0	貸店舗建設
						2000.12.20	6.0	個人住宅
あまだじんじやいせき 天田神社遺跡	かたのしきさいち 交野市私市	27230		34° 46' 17"	135° 41' 25"	2000.5.24	3.6	個人住宅
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
森遺跡	集落跡・ 生産遺跡	弥生~中世		水田状遺構 ・溝	須恵器・瓦器・ 瓦質土器			
大田神社遺跡	散布地・ 集落跡	弥生・古墳						

報告書抄録(2)

ふりがな	へいせい12ねんどかたのしまいぞうぶんかざいはくつちょうさかいよう						
書名	平成12年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要						
副書名							
卷次							
シリーズ名							
編著者名	奥野和夫 小川暢子						
編集機関	交野市教育委員会						
所在地	〒576-0052大阪府交野市私部1丁目1番1号 丑(072) 892-0121						
発行年月日	西暦2001年3月30日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
ひがしくらじいせき 東倉治遺跡	かたのしひがしくらじ 交野市東倉治	27230	34° 47' 37"	135° 42' 20"	2000.5.15	0.96	宅地開発
くらじいせき 倉治遺跡	かたのしくらじ 交野市倉治	27230	34° 47' 30"	135° 41' 45"	2000.5.30	2.58	宅地開発
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
東倉治遺跡	散布地	弥生・古墳					
倉治遺跡	集落跡	古墳		土器片			

平成12年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発 行 日 2001年3月30日

編集・発行 交野市教育委員会
大阪府交野市私部1丁目1番1号

印 刷 所 株式会社 きょうせい関西支社

(本報告書は、再生紙を使用しています。)

